

南会津 のうりん ニュース



今号の写真：猿楽台地のそば畑

トピックス

- ・意見交換会を開催しました
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・南郷トマト使用のモスバーガー
- ・土木系技術職員による現地研修を実施しました
- ・農業水利施設の合同診断を実施しました
- ・林業アカデミーふくしま第1期生の就業先を訪問しました
- ・主伐・再造林一貫作業の現地検討会を実施しました
- ・フレッシュ農業講座を開催しました
- ・農業相談会を開催しました

農林事務所からのお知らせ

- ・令和6年度「林業アカデミーふくしま」就業前長期研修の研修生を募集
- ・「アグリカレッジ福島」令和6年度学生募集
- ・営農飲雑用水施設工事が進んでいます
～中山間地域総合整備事業「下郷地区」～
- ・みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストの作品を募集中
- ・令和5年度秋の農作業安全運動実施中
- ・落花生の栽培をしてみませんか
- ・紙媒体での発行が終了しました

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品
(株)新国農園 太陽の麺

第217号（令和5年9月1日発行） 福島県南会津農林事務所

トピックス

＼意見交換会を開催しました／

令和3年12月に策定した「福島県農林水産業振興計画」について、南会津地域の農林業等に携わる関係者を招き、意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、計画の基本目標である「『もうかる』誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を実現できるよう、地域の方々から実情や課題に関する意見を頂き、今後の施策展開に資することで、南会津地域の農林業が持続的なものとなることを目的としています。

意見交換者からは、当地域の農林業が未来の子供たちに魅力ある職業になるよう、将来に向けた建設的な御意見を頂き、実りある会議となりました。

(企画部)



意見交換会の様子

＼「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました／

【南郷トマトPR】

8月5～20日に第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンで南郷トマトをPRしました。

南郷トマトは、南会津地域の冷涼な気候と昼夜の寒暖差によって、酸味と糖度のバランスがとれ、しっかりとした食感が魅力のトマトです。

キャンペーン期間中に協力店である「まちの駅南会津ふるさと物産館」、「道の駅山口温泉きらら289」、「会津西街道道の駅たじま」で、南郷トマト(20個入りの箱)を購入し、アンケートに協力いただいた方(各店先着60名様)に南郷トマトの6次化商品をプレゼントしました。南郷トマト購入者からは「おいしそうだったので買った」、「ブランド南郷トマトを全国に発信できる素晴らしい試み」などの感想が聞かれました。

8月6日には、道の駅山口温泉きらら289の食堂で、南郷トマトの試食及び南郷トマトジュースの試飲も行いました。



第2回キャンペーンの様子



南郷トマト

【本格スパイスカレー教室】

また、野菜の日(8月31日)にちなんだ企画として、8月20日に御蔵入交流館(南会津町)で小学生親子を対象に南会津産野菜等を使用した本格スパイスカレー教室を今年度3回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンとして開催しました。



第3回キャンペーンの様子
(講師の岩畑氏:左)



カレーを作る親子

ハウス食品株式会社開発研究所の岩畑慎一氏を講師として呼びし、小学生とその保護者合計11名の参加者が、南会津産野菜などが入ったカレーを力を合わせて作りました。

当日は、岩畑講師による、南会津産野菜を使った味覚や野菜の科学的なお話もありました。トマトは塩を振ることでうまみが増すことや、アスパラの苦みはレモンで抑えられることなどを、実際に食べ比べをすることで味の変化に驚き、子どもたちは興味津々でした。

また、南会津保健福祉事務所による野菜のクイズやベジ・ファーストに関する講話、当事務所による南会津産の野菜に関する講話を行うなど、子ども達に野菜の魅力等を発信する良い機会となりました。

(企画部)

＼南郷トマト使用のモスバーガー／

福島県民の日(8月21日)にあわせて、県内のモスバーガー全15店舗で「モスの産直野菜フェスタ」が開催され、モスバーガーなどのトマトを使用した全商品に産地直送の「南郷トマト」が使用されたほか、限定商品や持ち帰りの南郷トマトが販売されました。このイベントは、2013年から今年で11年目を迎え、長年にわたり南郷トマトのPRに貢献いただいております。8月25日には、南郷トマト生産組合の高木組合長と山内副組合長が、感謝の気持ちを伝えるためモスバーガー会津喜多方店を訪問しました。

店内は、南郷トマトの魅力が詰まったポップやイラストで彩られており、店舗スタッフの方々から「このおいしい南郷トマトを作り続けて欲しい」との言葉に、高木組合長たちは感激して、さらに感謝していました。

このイベントの2回目は、9月29日～10月1日の3日間だけ開催されますので、ぜひこの機会に南郷トマトをご賞味下さい。

(企画部)



訪問の様子



生産組合とスタッフの皆さん

＼土木系技術職員による現地研修を実施しました／

当事務所では、若手職員の技術力向上を目的として、随時、技術研修会を開催しています。今年度は、6月及び7月に農村整備部と森林林業部が合同で土木系技術職員の現地研修を行いました。今回は7月25日に開催した研修内容について御紹介します。

農村整備部で実施している中山間地域総合整備事業「下郷地区」では、現在国道118号に水道管を埋設する工事を実施しており、この中で採用している「簡易推進工法」について研修しました。

「簡易推進工法」とは、道路に暗渠あんきよと呼ばれるコンクリート製の管等が埋設されている場合に、これを避ける形でトンネルのように掘り進む工法を言います。今回掘削する口径は200mmと規模として小さいため、「簡易」という名称がつけられています。

今回は9名が参加し、担当者が工法を説明後、実際の施工状況を研修しました。参加者全員が初めて見る工法でもあり、様々な疑問や質問が出されるなど活発な意見交換がなされました。

今後も現地で研修する機会を増やし、技術力の向上に努めてまいります。



現地研修の様子

(農村整備部)

＼農業水利施設の合同診断を実施しました／

県では、農業用施設の適切な維持管理を行うために、毎年各町との合同診断を実施しています。今年は6月1日に下郷町で、7月4日に南会津町で、7月6日に只見町で、農業水利施設の合同診断を実施しました。

農業用施設とは、農地に使う水を取水したり排水したりする施設のこと
で、例として水路や頭首工とうしゅこう（堰）せき、ため池などが挙げられます。これらは農業生産を支えるのは勿論のこと、大雨時の洪水・浸水被害を防いだり、消雪用水や防火用水として機能するなど、私たちの生活の中で重要な役割を担っています。

点検は、チェックリストを用いて、コンクリートのひび割れや変形、金属部分のさびの状況に加えて、水門では実際に開閉状況などを操作して確認していきます。今回の点検結果は、補修や改修の必要性を判断する材料となり、今後の維持管理計画に役立てます。

最近では、管理者の高齢化等により点検の機会が減り、老朽化や劣化の進行が早まっている事例も見受けられます。身近な農業用施設の劣化や損傷が気になった際は、早めに町の担当課に御相談ください。
(農村整備部)



点検状況(只見町)

＼林業アカデミーふくしま第1期生の就業先を訪問しました／

昨年度、林業アカデミーふくしま就業前長期研修を修了した第1期生14名のうち2名(齋藤さん、宇野さん)が、令和5年4月に南会津町の林業事業体へ就業して3か月が経過したので、その就業先を訪問しました。

齋藤さんの就業先は、素材生産業が主な業務ですが、当地方では数少ない主伐後の再生林にも取り組む意欲的な林業事業体です。訪問した7月12日は、伐採跡地にカラマツ苗の植栽を行いました。植栽する苗木が一直線になるようロープを張りながら植栽間隔を均一にして、植栽後に下刈りなどの保育作業がしやすいように植え付けていました。炎天下の中で従業員や地元の方々と声を掛け合い、一生懸命に頑張っている姿から、齋藤さんの親しみやすく、気さくな人柄が垣間見えました。

宇野さんの就業先は、素材生産業を営む林業事業体です。訪問した7月25日は県営林の立木売り払い契約地の伐採現場で作業をされていました。宇野さんが樹齢75年のカラマツやスギをチェーンソーで伐倒し、ベテランの方たちが集材から造材、運搬までを高性能林業機械を使って実施していました。伐倒作業を行う宇野さんは、カラマツの枝の張り具合など立木の重心を見極めて、狙った場所へ倒れるようチェーンソーの入れ方を考えており、大粒の汗をかきながら作業をする姿は、とても力強く、頼もしい印象を受けました。
(森林林業部)



カラマツ苗の植栽を始める様子



休憩中の齋藤さん



宇野さんがチェーンソーで伐採する様子



伐採した後の現場の様子

＼主伐・再造林一貫作業の現地検討会を実施しました／

森林は、大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵していますが、県内の人工林では高齢林化に伴い、森林の二酸化炭素吸収量（森林吸収量）が減少傾向で推移しております。今後、森林吸収量を確保していくためには、利用期を迎えた人工林について「伐って・使って・植えて・育てる」ことにより、成長が旺盛で森林吸収量も多い森林へ若返りを図っていくことが必要です。



ディブル



コンテナ苗

県では、伐採跡地への再造林を普及するため、低コスト化につながる「主伐・再造林一貫作業」の取組を推進しています。

主伐・再造林一貫作業とは、伐採から植栽までの作業を連続して行うことでコストの削減を図る手法です。具体的には、伐採に用いた高性能林業機械を使って林地残材



植え穴



植栽の様子

となった枝葉等を整理する機械地拵^{きかいじごしら}えや植栽作業が容易なコンテナ苗を使うことで、作業の効率化が図られます。

当事務所では、7月11日、南会津町針生地区で一貫作業を行っている合同会社はりゅう林業と植栽の現地検討会を行いました。ディブルと呼ばれる道具で植え穴を開ける人、カラマツのコンテナ苗を植え穴に入れて踏み固める人の二人一組で作業を行いました。炎天下でしたが12名で約2,200本(1.1ヘクタール)植えることができました。

また、当日は、作業方法ごとの所要時間等を記録したので、これらのデータを今後の普及活動にかかしていきます。
(森林林業部)

＼フレッシュ農業講座を開催しました／

当事務所では、高校生に地元の農業者との交流を通じて地域農業への理解を深めてもらうため、毎年「フレッシュ農業講座」と題して地域の農業経営体の視察を実施しています。

今年は7月6日に、県立南会津高校普通科環境科学コース2年生の生徒22名が、南会津町針生地区の阿久津和隆氏のトマト生産ほ場を見学しました。



ほ場見学の様子

南郷トマトの概要について説明を受けた後、栽培中のトマトを見学し、栽培状況や経営の特徴、さらにGAP取得のメリットなどについて学びました。生徒は熱心に説明を聞き、見学後のアンケートでは、「大変だけど、その分やりがいがある仕事だと感じた」「南郷トマトで年間10億円以上販売していて驚いた」「GAPは細かいところも見るので、安全で信用のできる目印にもなると思った」などの感想が聞かれ、地域農業への理解を深めていました。



説明を受ける生徒たち

12月には1年生を対象に管内の優れた農業経営者による講演を予定しています。

(農業振興普及部)

トップへ戻る

農業相談会を開催しました

7月16日に南会津地域農業相談会トマトコースを開催しました。

この取組は新規就農者の確保のため開催しており、県内外から8名の相談者が参加しました。午前中は、南会津町古町にある阿久津研二さんのトマト生産ほ場を見学し、阿久津さんから就農時の体験談などの話を伺いました。参加者は阿久津さんの話を熱心に聴いており、就農時の資金の話や冬期間の生活などについて質問がありました。

午後は南会津町の「きとね」においてランチ交流会を行い、農林事務所など関係者から就農に関する情報提供や、参加者の就農に対する思いなどについて意見交換をしました。

本相談会を契機として、就農につながることを期待しております。

(農業振興普及部)



相談会の様子

農林事務所からのお知らせ

令和6年度「林業アカデミーふくしま」就業前長期研修の研修生を募集

県では、福島県内の林業事業体等に就業を希望する方を対象とした林業アカデミーふくしま就業前長期研修の令和6年度研修生を募集しています。

当研修は、森林・林業に関する基礎知識や林業に必要な技能・技術の習得、各種資格の取得などを1年を通して学んでいただき、研修終了後に県内の林業事業体等へ就業していただくことを目的としています。詳しい内容は、「林業アカデミーふくしま就業前長期研修_令和6年度研修生募集要項」を御覧ください。

1 研修生の募集

定員	選考区分		申請月日	合格発表	
15名 程度	推薦		10名程度	R5.9.1~R5.9.29	R5.10.20
	一般	前期	5名程度	R5.11.9~R5.11.24	R5.12.15
		後期		R6.1.11~R6.1.26	R6.2.16

※推薦枠(在籍する高等学校長の推薦がある方、林業事業体代表者の推薦がある方)

※一般枠(高等学校を卒業した方、もしくはR6.3.31までに卒業見込みの方など)

2 研修受講料

年額 118,800円 その他、教科書代・作業服・保険料等は実費負担となります。

3 給付金制度

研修終了後1年以内に林業分野に就業し、その中核を担うことに強い意志を持っている方へ、研修生一人あたり年間142万円(上限額)を給付する国の支援制度を活用することができます。

4 申込み方法

令和6年度研修生募集要項等の詳細は、県ホームページや二次元コードから確認できます。

(森林林業部)



ポスター



林業アカデミー
ふくしまHP



令和6年度
募集要項

— 「アグリカレッジ福島」令和6年度学生募集 —

矢吹町にある福島県農業総合センター農業短期大学校(アグリカレッジ福島)では、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、令和6年度の学生を募集しています。ぜひ御応募ください。



「アグリカレッジ福島」学生募集ポスター

1 募集人員 60名

水田経営学科 15名程度 花き経営学科 10名程度
 野菜経営学科 15名程度 畜産経営学科 10名程度
 果樹経営学科 10名程度

2 募集の概要

入校試験区分		出願期間	試験日	合格発表
推 薦	経営学科ごとに募集人員の70%程度	R5.10.3~R5.10.17	R5.11.2	R5.11.10
一 般	前期	R5.11.20~R5.12.8	R5.12.18	R5.12.22
	後期	R6.1.11~R6.1.31	R6.2.9	R6.2.16

3 お問い合わせ先

福島県農業総合センター農業短期大学校 農業経営部 入試担当
 電話:0248-42-4113

(農業振興普及部)



アグリカレッジ福島
 HP二次元コード

— 営農飲雑用水施設工事が進んでいます —

～中山間地域総合整備事業「下郷地区」～

本事業では農村地域の生活環境に関わる様々な整備を行っており、昨年度はデジタル防災行政無線施設の工事が完了し、昨年7月から町の全域で運用を開始したところです。

今年度は、昨年度に引き続き下郷町の芦ノ原地区及び三ツ井地区において営農飲雑用水工事(上水道工事)を進めています。両地区における生活用水は沢水や井戸に頼っており、上水道による安定した生活用水の供給が望まれていることから、令和元年度に工事に着手し、整備を進めています。



工事の様子

特に芦ノ原地区においては、令和6年3月末の供用開始に向けて工事が大詰めを迎えており、末端となる国道118号及び集落内の町道芦ノ原居平線等の区間を中心に工事を進めています。

この区間は、過去に縄文時代の土器等が発掘された経緯があるため、道路を掘削する際には町教育委員会の方の立ち会いの下、確認を行いながら慎重に工事を進めています。

また、工事にあたっては国道118号を片側交互通行とするなど、地域のみなさまには御迷惑をおかけしておりますが、一日も早い完成に向け、細心の注意を払いながら工事を進めてまいりますので、今後とも御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

(農村整備部)

— みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストの作品を募集中 —

昨年度に引き続き、みなみあいづ森林・林業・木材産業フォトコンテストを開催しています。募集テーマは「みなみあいづの森林・林業・木材産業の魅力を伝えよう」です。

南会津地域(下郷町、只見町、檜枝岐村、南会津町)で撮影された森林の情景や林業の仕事、木材産業や特用林産物の生産工程等が伝わる写真を幅広く募集しています。募集期間は令和5年7月3日から令和5年12月28日までです。

応募作品は、南会津の魅力を地域の内外へPRするために活用させていただくとともに、入賞者には南会津の特産品や6次化商品などをプレゼントする予定です。詳細は下記URLを御確認ください。皆さまからのご応募をお待ちしております。

URL:<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/photocon.html>

【お問い合わせ先】南会津農林事務所 森林林業部 林業課

電話:0241-62-5373

(森林林業部)



フォトコンテスト募集チラシ

応募様式	
題名	
撮影場所 (大抵程度まで)	
撮影時期	年 月
応募者 住所	〒
年齢	歳
氏名	
電話番号	
備考	

応募様式

— 令和5年度秋の農作業安全運動実施中 —

県では、9月1日から10月31日までを「秋の農作業安全運動重点推進期間」としてしています。

秋はコンバインやトラクターを使用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。

次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実践しましょう。

- ①作業前における機械の点検・整備および周辺環境の確認はしっかり行いましょう！
- ②可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう！
- ③シートベルトは必ず締めましょう！
- ④作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう！
- ⑤機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！

全国の農作業死亡事故における65歳以上の高齢者の割合は約85%となっています。家族や近隣の高齢農業者の方への日々の声かけにより、安全な農作業に対する意識を高めましょう。声かけの際は、具体的な危険箇所、注意点を伝えるとより効果的です。

また、万が一事故が発生してしまった際に、確実な補償を受けられるよう、労災保険特別加入制度への加入を積極的に御検討ください。二次元コードから、農業者のための特別加入制度について御確認いただけます。既に保険に加入されている方も、補償内容を確認し、補償が不十分であれば加入内容の見直しを行いましょう。

【お問い合わせ先】南会津農林事務所 農業振興普及部

電話:0241-62-5264

(農業振興普及部)



ステッカー



農業者のための特別加入制度について
(厚生労働省)

— 落花生の栽培をしてみませんか —

会津地方では、落花生産地の再生に取り組んでいます。南会津地方での落花生栽培に興味のある方は、以下のお問い合わせ先に御相談ください。

【お問い合わせ先】

南会津農林事務所 農業振興普及部 地域農業推進課

電話:0241-62-5262

(農業振興普及部)



落花生の様子

— 紙媒体での発行が終了しました —

南会津のうりんニュースは、今号(第217号)から電子データのみでの発行となりました。引き続き、当事務所ホームページから御覧ください。

ホームページ:<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

トップページメニューの「南会津のうりんニュース」のバナーをクリックすると、南会津のうりんニュースの最新号とバックナンバーを御覧いただけます。または右上の二次元コードを読み取っても御覧いただけます。



当事務所HP

なお、電子メールでの送付を希望される方は、当事務所企画部まで御連絡ください。

【お問い合わせ先】 電話:0241-62-5252

メールアドレス:kikaku.af05@pref.fukushima.lg.jp

(企画部)

コラム

～キラリと光る南会津の6次化商品((株)新国農園 太陽の麺)～

太陽の麺は、只見町にある(株)新国農園が販売する、自社玄米を使用した玄米麺です。

種類はプレーンとブラックの2種類で、ブラックは玄米を炒ってから製粉した米粉を使用しており、ほうじ茶のような香ばしい香りが特徴。香りを生かすために、塩コショウとお好みのオイルをまぶして食べるのがおすすめだとか。

ブラックには極太麺もあり、食べ応えが欲しい人におすすめ！

茹で時間は90秒！一度流水ですすいでモチモチの食感をお楽しみください。

○商品情報

・価格(税込):プレーン・ブラック各1人前 270円(税込み)

・取扱店:ファーマーズマーケット「まんまーじゃ」(会津若松市)、まーけっと三日町(只見町)、げんき村(只見町)、只見町インフォメーションセンター(只見町)



太陽の麺
プレーン(左)、ブラック(右)

＼農林水産部公式YouTubeチャンネル／

福島県農林水産部では、公式YouTubeチャンネル「1400のネタバラシ」を開設しています。

職員自ら自由な発想で企画・取材・編集し、県産農林水産物のおいしさや「福島ならではの」魅力を伝える動画を制作しています。ぜひ御覧ください！



◀ 農林水産部公式
YouTubeチャンネル
二次元コード



【標高2000mで
会津田島アスパラを料理！】
南会津のブランド、会津田島アスパラを使って、雪の残る会津駒ヶ岳(檜枝岐村)で料理してみました！



【南会津の棚田】
南会津地方の棚田をドローンで撮影しました。急峻な山間部に佇む集落と棚田の織り成す風景は、どこか懐かしい日本の原風景を思い出します。



【全力で会津田島アスパラPR！】
5/14(日)に、「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーンを開催し、会津田島アスパラをPRしました。

＼南会津農林事務所公式Instagram／

当事務所では、南会津地域の農林業や農山村の魅力をリアルタイムに広く情報発信するため、公式Instagramを開設しています。

当事務所職員が普段の業務の一コマや、南会津で見つけた特色ある写真を投稿しておりますので、ぜひフォローをお願いします。

二次元コードから
ぜひご覧ください▶



MINAMIAIZU_NOURIN

▼最近の主な投稿



【ハウレンソウ出荷中！】



【(株)新国農園 太陽の麺】



◀【公式】福島県南会津農林事務所
アカウント名 @minamiaizu_nourin

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

ホームページ: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

